



『女性も男性も働きやすい職場づくりについて』

～滋賀県女性医師ネットワーク会議からの報告
(ネットワーク会議委員)～

社会医療法人誠光会 草津総合病院

産婦人科統括部長 ト部優子

厚生労働省による医師・歯科医師・薬剤師調査によると、平成28年12月31日の時点で全国の届け出「医師数」は319,480人で、「男性」251,987人(78.9%)、「女性」67,493人(21.1%)となっている。女性医師の占める比率は平成元年ではおよそ10%程度であったが、徐々に上昇している。年齢階級別にみると、年齢階級が低くなるほど高く、「29歳以下」では34.6%となっている。特に39歳以下の女性医師数が女性医師全体の46.6%を占めている。また科による偏在がみられ、平成26年の統計では皮膚科(46.1%)、眼科(37.9%)、麻酔科(37.7%)、小児科(34.2%)、産婦人科(33.7%)の順である。若手の女性医師比率はまだまだ上昇することが予想される。女性医師の配偶者・パートナーは男性医師が多く、このままでは女性に子育て・家事・介護をまかせて男性が仕事優先で働くという考えでは日本の医療が成り立たなくなる。そこで、女性のみならず、男性も働きやすい環境、妊娠・出産・育児・家事・介護・病気などの場合に柔軟に対応できる環境を整備することが大変重要になってくる。

滋賀県では女性医師の就業支援、男女共同参画の意義を高め、男女とも働きやすい職場環境を整える目的で平成24年に滋賀県キャリアサポートセンターのなかに女性医師ネットワーク会議を組織した。育児、介護中の勤務形態、当直、職場内での効率的な仕事体制、復職支援、復職のための研修・キャリアアップなどに対してその年ごとにテーマを決め女性医師交流会で講師を招き、意見交換を行っている。

構成員は滋賀県下で勤務する10名の女性医師(小児科、乳腺外科、外科、産婦人科、眼科、消化器内科、腎臓内科、内科)で、滋賀医科大学、滋賀県医師会、滋賀県病院協会から推薦されたメンバーである。事務局は滋賀県医師キャリアサポートセンター(滋賀医大内)にある。女性医師交流会開催に向けてテーマを決め会議を行い、ネットワークだよりを年1回発行している。

第2回交流会では、女性医師の就業とキャリアのためのアンケートをまとめ、女性医師が就業を継続していくための提言を行った。アンケートは滋賀医科大学医学部卒業、同大同窓会に登録する女性会員(826名)に行い213名から回答を得られた。配偶者・パートナーは常勤医師では75%、非常勤医師では87%がいると回答、子供は常勤医師では64%、非常勤医師では85%がいると回答した。非常勤医師のほうが配偶者・パートナーのいる割合が高く、子供のいる割合も高かった。勤務形態は、常勤医師では30代後半でいったん減少するが、その後やや増加する。非常勤医師数は30代後半、卒後10年を超えてから増加し、その後減少する。常勤医師では常勤勤務中断を

約半数が経験し、出産が理由であることが最も多かった。常勤勤務を中断後に復職できた要因は家人の協力、当直・救急対応・オンコールの免除、保育園の確保、勤務先の受け入れ態勢、職場・上司の理解があげられ、常勤勤務を断念していた時に不足していた要因とも一致していた。

第7回交流会では日本赤十字社医療センター第1産婦人科部長の木戸道子先生が「できない」から「できる」へ変えよう～キャリアアップしていくために～とのタイトルで①医学部入試における女性減点問題②データでみる日本の女性医師の働き方③海外での女性医師の現状と必要な施策④キャリアアップを目指そう⑤イクボスの役割⑥「できない」を「できる」に変えよう⑦女性医師のキャリアデザインマップ⑧行動経済学でジェンダーバイアスを克服する⑨プロフェッショナルとして活躍し続けるための7か条について基調講演をしていただいた。また、働き方ケースカンファレンスとして「子育て」、「介護」、「病气」をテーマに自分や部下が直面した場合を想定し、打開策を提案した。

以下7回の交流会タイトル

- 平成24.12.15 第1回 今舵を切る！多様な働き方へ
- 平成25.12.7 第2回 より良い医療のために、より良い人生のために
- 平成26.12.6 第3回 わたしたちが働き続けるために
～長時間労働の医療界に風穴を開ける～
- 平成27.12.5 第4回 医師のワーク・ライフ・バランスが実現できる職場環境づくり
- 平成29.2.18 第5回 古くて新しい「当直」問題～やっぱりそこ？!!～
- 平成29.11.18 第6回 女性も男性も楽しく働く！～キャリアアップも子育ても充実～
- 平成30.10.27 第7回 みんなが活躍できる働き方改革

毎年テーマを変えて交流会を行っているが、メンバーはどうすれば医療界が女性だけでなく、男性も働きやすい職場環境となるか試行錯誤をしながら会を開催している。